



長尾小学校 学校通信

がんばる！長尾！

校長 隼田 靖宏

「大人の本気」を見せてください。

運動会を終え、子ども達は落ち着いて学習に取り組んでいるところです。保護者の皆様におかれましては、学習用具の準備や点検等いつもありがとうございます。

さて、標題の「大人の体力テスト」については、先にご案内したとおりですが、ぜひ、取組を通して「大人の本気の姿」を子ども達に見せていただきたいと思っています。子どもが実施する体力テストは50m走、ソフトボール投げ、立ち幅跳び、反復横跳び、長座体前屈、握力、上体おこし、20mシャトルランの8種目です。6/23(金)当日は、時間と運動強度の関係で20mシャトルランは行いません。(きつすぎます。)ぜひ、6/23(金)14:00~15:30、5年生と一緒に気持ち良い汗をかいていただければと思います。

なお、市内でも特徴的な取組となりますので、マスコミの取材要請をしております。直前まで取材に来てくれるかどうか分かりませんが、「がんばる！長尾！」「元気な長尾！」「大人も子どももなかよし長尾！」などのイメージが広く紹介できたらと考えています。

たくさんのご参加をお待ちしております。



乱暴な言葉、汚い言葉をなくすために

学校では、全教育活動の中で、子どもの言葉遣いについて指導をしています。

時には、「子どもつながりプログラム」(北九州市教育委員会)の「あったか言葉とちくちく言葉」等をもとに、意図的に言葉遣いについて学習することもあります。

先日、新聞で「乱暴な言葉、汚い言葉を直すポイント」という記事を見つけました。

- 言われた相手の気持ちを考えるように伝える
- どうしてその言葉を使ったのか話を聞き、他の言い方がないか、一緒に考える
- 大人の反応を見て面白がっている場合もある。過剰に反応しない
- 大人自身も同じような言葉を使っていないか、気をつける

自分の思いを言葉で伝えるには、経験とトレーニングが必要です。同じ思いでも、語彙力が少ないと十分に伝えられず、トラブルになったり、言葉で伝わらないために手を出したりすることがあります。

ぜひ、学校でも、家庭でも、子どもを取り巻く大人として、優しい言葉遣いでたくさん子どもに話しかけ、絵本の読み聞かせや読書等を通して、言葉を覚えさせていかなければいけないと思っています。

環境アクティブラーニングについて

6/2(金)4年生の環境アクティブラーニングと一緒にきました。ご存じのように北九州市は公害を克服した環境首都として、日本中、広くはアジアからも注目されています。

様々な環境の取組がありますが、私はまずは「ポイ捨てしない」ところから始まると思います。学校の正門から信号までのほんの短い中にも、タバコの吸い殻や空き缶が落ちています。教育の場として、それは子どもに見せたくない面です。北九州市子育て10か条にも「まず親がきちんと実行社会のルール」とあります。私自身も親として、しっかり意識していきたいと思っています。

長尾小学校よい子のきまり

先日、「長尾小学校よい子のきまり」についてのお手紙を出しました。お子様と一緒にご確認いただけたでしょうか。

子どもは、友達との話題作りとして、時折こっそりと自宅から学習とは無関係な物を学校に持ってきていることがあり、それがもたらすトラブルになることがあります。ぜひ、お子様の持ち物等に日頃から興味をもっていただきたいと思えます。ご協力お願いいたします。

住宅前の道路で遊んでいる子どものフリスビーが車に当たって傷がついたとのご連絡をいただき、放課後の遊び方について全児童に指導をしました。ご家庭でも遊ぶ場所、遊び方等についてお話をさせていただきます。よろしく申し上げます。